

第35回 国分寺市平和祈念式

日 時 令和6年8月15日(木)
11時45分～12時10分

会 場 市役所 平和の灯^ひ前
(荒天：第一・第二委員会室)

式 次 第

開 式

紹 介 広島市長からのメッセージ
長崎市長からのメッセージ

献 花

黙とう 正 午

挨 拶 国分寺市長 井 澤 邦 夫
国分寺市議会議長 田 中 政 義

閉 式

※水分補給を十分行ってください。

※プレハブ会議室第一は、休憩室として御利用できます。

※8月18日(日)まで「原爆パネル展」を本多公民館、並木公民館、男女平等推進センター(ひかりプラザ内)で開催しています。

※9月21日(土)に「第52回 国分寺市平和祈念行事」をcocobunjiプラザ リオンホールで開催します。

皆さまの参加をお待ちしております

平和の^ひ灯



平和の灯は、「国分寺市非核平和都市宣言」の精神を受け、世界恒久平和の実現を目指す国分寺市民の決意を表し、平和の大切さを訴えるものです。

灯されている「^ひ灯」は、広島市の「平和の^{ともしび}灯」から分火を受け、一緒に設置している「被爆瓦」は長崎市から寄贈を受けたものです。

モニュメント本体は、^{かつさかしきどき}勝坂式土器をかたどっており、国分寺市の長い歴史を表しています。これには、平和な未来へつながってほしいという願いが込められています。

【勝坂式土器】

装飾性に富み、力強く、豪華で優れたものが多く、把手と胴部が「く」の字状に屈曲した形が特徴。

武蔵多喜窪遺跡からの出土品は、国指定重要文化財に指定されています。



【平和の灯 設置年月日】 平成2年8月15日

国分寺市非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかしながら核軍備拡大は激化の一途をたどり新たな核戦争の危機をはらんでいる。

私たちは戦争による世界最初の被爆国の国民として平和憲法の精神にのっとり核兵器の廃絶と世界の軍備縮小に向け積極的な役割を果たさなければならぬ。

わが国分寺市は世界の平和と人類の幸福を希求し、日本の国是ともいうべき非核三原則の遵守と地球上よりすべての核兵器の廃絶を求めるものである。

国分寺市の地上・上空を問わず、あらゆる国のあらゆる核兵器の持ち込みと通過をも認めないことを確認し非核平和都市を宣言する。

昭和五十九年八月六日

国分寺市